

■ イベント開催のお知らせ

スキルアップセミナー

『職場のコミュニケーション』

そのコミュニケーションに、満足していますか』

自己分析や対話分析のほか、
陥りやすいトラブルパターンを
把握し、よりよい人間関係構築の
ためのスキルを学びましょう

山梨大学男女共同参画推進室
スキルアップセミナー

職場の コミュニケーション

そのコミュニケーションに、満足していますか



遅くとも2016年3月10日までに、職場でのコミュニケーション、人間関係における自分の「強み」を
見つめ、自分自身の強みを生かすことができるようになるコミュニケーションの改善「対
話分析」という手法を用いて身につけてみましょう。



●講師 小林和美氏

社会保険労務士、キャリア・
コンサルタント、交流分析士。
「人が生き生きと働く」環境
が「自分づくり」に与える影
響、セミナーを実施している。
平成15年社会保険労務士事
業試験合格、併任法務士に、現
在、学生生活のセミナー等100
回を超える実績を持つ。
HP: <http://rekazumi.com/>

●実施日

平成28年 2月16日(火)、3月4日(金)、3月10日(木)

●時間

12:10~12:50

●会場

甲府キャンパス：附属図書館1階

医学部キャンパス：附属図書館医学分館会議室

●定員が定まります

定員の枠を超えて参加することは、当該実施日に限り特別に断否
が可能です。

●ストーリー

職場でのコミュニケーションを改善して

2月16日(火)

1. 自己分析の重要性について

2. 自己分析の手法について

3. 自己分析の結果の活用について

4. 自己分析の結果の活用について

3月4日(金)

1. 対話分析の重要性について

2. 対話分析の手法について

3. 対話分析の結果の活用について

4. 対話分析の結果の活用について

3月10日(木)

1. 自己分析の重要性について

2. 自己分析の手法について

3. 自己分析の結果の活用について

4. 自己分析の結果の活用について

●対話分析とは?

対話分析とは「Transactional

Analysis」(TA)は、1957年

アメリカの心理学者「ギルバート

パリンクハースト」が提唱した、

対人関係の改善を目指す対話分析

です。対話分析は、対話の

過程を分析し、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

対話分析の手法を用いて、

対話の質を向上させることを

目的とし、対話の質を向上

させるための対話分析の

手法を用いて、対話の質を

向上させることを目的とし、

対話の質を向上させるための

キャリアアシスタント(CA)制度利用の感想をご紹介します

✿ 男女共同参画推進室では、研究者の研究活動とライフイベントとの両立を支援するとともに、研究をアシストする者の研究キャリアの形成支援を目的とした「キャリアアシスタント（CA）制度」を運営しています。今回は、現在制度を利用している女性研究者と、そのCAを務める学生に、志望動機や利用感想をご紹介します。

Q.制度を利用した理由は？

育児短時間勤務の申請に伴い、労働時間が少ない中で研究業務を継続するためです。

Q.制度を利用した率直な感想は？

研究をサポートしてもらえばかりではなく、CA学生が研究について積極的に理解を深め今後の学習へ繋がっている様子がみられました。

Q.制度を利用したことによる研究への効果は？

研究の一環として研究発表の企画運営のサポートもCAへ依頼しました。学生の意見は学術的に偏らず、学生の視点が活かされる場面もあり効果的でした。

Q.制度を利用したことによる自身への効果は？

産後休暇中に育児をしていく中で職場復帰も危ぶまれましたが、育児のための時間が確保できたことは、結果的に安定した研究の継続につながり、サポーター制度利用中の発表活動にも専念することができました。



A先生
現在、CA制度利用中

Q.応募したきっかけは？

限られた学生生活のなかで自分自身を刺激しながら、学ぶことができると思ったからです。私の将来の夢は教師になることです。専門的な知識だけではなく、指導方法等も学びたいと思っていました。CA活動を行うなか、制作補助に加え講義準備を間近で見ることににより、将来に生かすことができると思ったからです。

Q. CA活動のやりがいや楽しさって？

私も知らなかった発見があったときには、自分自身の学びともなっています。そして、専門分野の魅力だけではなく、大変さも知る機会となりました。

Q. CA活動をとおしてどんな効果・影響がありましたか？

小学校や中学校の研究授業の見方が変わりました。授業内で扱う材料や支援方法が適切であったか、他の方法もあるのではないかと自分自身で考えながら観察する力がついたと思います。また、自身の学びに必要な分野だけではなく、興味を持つだけでとどまっていた学問も学びたいという意欲が湧きました。受講している授業にも、CA活動のなかで学んだことを生かして行っています。



Bさん
現在活動中の、
A先生のCA

◆制度の利用者とCAの募集時期について

CA制度利用者の募集（研究者向け）、CA募集（学生向け）共に、前期・後期開始前にホームページや学内掲示板、CNS等にて実施しています。利用希望者はご確認の上、お申し込みください。また、突発的なライフイベント等への対応は随時行っております。当室までご相談ください。

2016年（平成28年）

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2 介護中	3	4 ★	5	6
7	8	9	10	11	12 介護中	13
14	15 ★	16 スキルアップセミナー	17	18 ★	19	20
21	22 介護中	23	24	25 ★	26	27
28	29	3/1	2	3	4	5

2016年（平成28年）

3月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	1 介護中	2 ★	3 ★	4 スキルアップセミナー	5
6	7	8	9	10 スキルアップセミナー	11	12
13	14	15 ★	16	17 ★	18	19
20	21	22 介護中	23	24 お楽しみランチ会	25 ★	26
27	28	29	30	31 ★	1	2

ランチ会情報

※マークと日にちが変わりました

交流スペース（B1-214号室）で
テーマ別ランチ会を開催中♪



2の付く日：介護情報交換！



5の付く日：子育て情報交換！



毎週木曜日：デンパ☆梨甲局

（どなたでもご参加いただけます
別席での個人利用も可能です。）

マークのない日にいらしていただいてもOKです♪
（但し、打合せ等で対応できないことがあります）